

資料 2

「うどんの材料と作り方」の読み方

世代を超えて皆が心地よい場を創る: 作ろ Udon・食べよ Udon

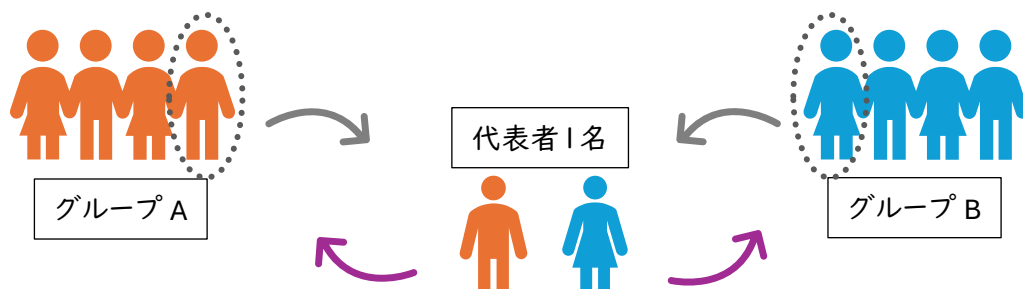
活動に参加する学習者のより深い理解と協調性を育むことを目指した読む活動の方法です。

【準備するもの】うどんの作り方シート

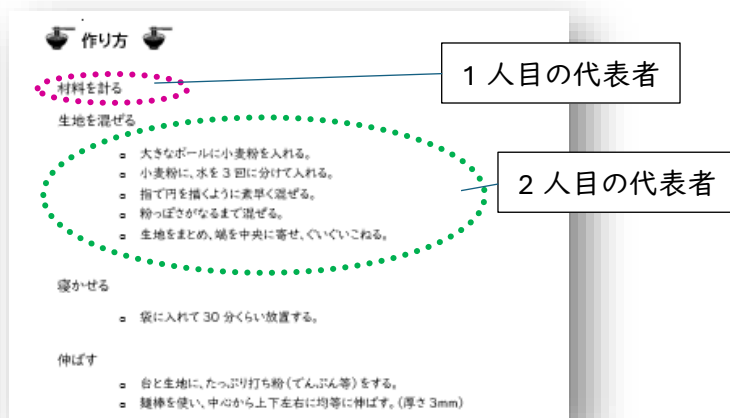
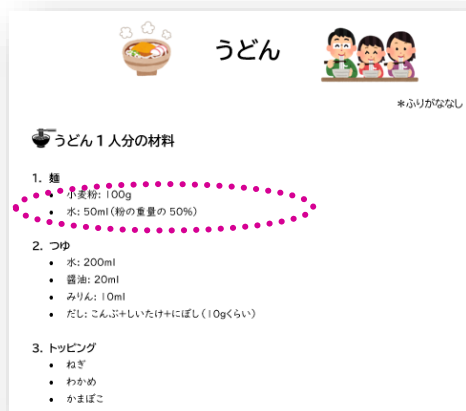
【手順】

- (1) 参加者をグループに分ける。
* グループにつき1つのうどんの生地を作ることを考慮して、グループを作る。
参加者に年齢差がある場合は、同年齢の参加者を別グループにするほうが実施しやすい。
- (2) 各グループの代表1名が前に出てきて、他のグループ代表者と一緒にうどんの材料や「うどんの作り方」の**一つの工程を読んで理解**する。(最初の工程は、麺の材料と分量)
- (3) 各グループの代表者は自分のグループに戻り、理解したことを伝え、グループは聞いた通りに作る。
- (4) 次に各グループで別の代表者を決め、その代表者が集まって**次の工程を一つ、読んで理解**する。
- (5) 代表者は自分のグループに戻り、理解したことを伝え、グループメンバーと協力してその通りに作る。
- (6) 最後の工程まで、(4) (5)を繰り返し、うどんを完成させる。

【活動イメージ図】



一つの工程を読んで理解したら、自分のグループに戻って、理解した通りに作る



参考: この方法は「ジグソー法」に着想を得ています。

ジグソー法については以下の文献が参考になります。

友野清文 (2015) 「ジグソー法の背景と思想 ―学校文化の変容のために―」『學苑』No.895, 昭和女子大学総合教育センター, pp.1-14.

http://purl.org/coar/resource_type/c_6501 (2026/05/19 閲覧)

